

今後の降雨への警戒に関する知事メッセージ

(県民の皆様、長野県に滞在中の皆様へ)

現在、雨は小康状態となっていますが、前線や湿った空気の影響で、18日にかけて断続的に強い雨が降り、再び大雨となる可能性があります。

明日(17日)午後6時までの24時間降水量は、県内のいずれも多いところで、50ミリから70ミリ、その後、あさって(18日)午後6時までの24時間降水量は、県内のいずれも多いところで、50ミリから150ミリと警報級の大雨が見込まれています。

県内では、これまでに72時間降水量が観測史上1位を記録する箇所が多数あるなど、記録的な大雨により地盤が緩んでいるところがあり、現在、警報が発表されていない地域でも、少しの雨で土砂災害の危険度が再び高まるおそれがあります。河川も再び増水することも予想されます。

県民の皆様や長野県に滞在中の皆様におかれましては、引き続き、土砂災害に警戒いただくとともに、増水した河川や危険な斜面など、普段と様子が異なる場所には近づかないようお願いします。

今後とも、決して油断することなく、市町村の避難指示等や宿泊施設からの情報提供等を踏まえ、ご自身やご家族の命を守ることを第一に考えて、行動していただきますようお願いいたします。

令和3年8月16日

長野県知事 阿部 守一